

題目	VR技術を活用した体感型安全教育支援システムの開発 ～大学における事故事例の収集・分析と体感型安全教育支援システムの開発～
著者	永田勝也 D2切川卓也・M1壺内良太・B4湯村淳

## 目的

- ・大学における安全体制の現状とその事例分析から、大学の安全体制構築に向けた検討を行う。
- ・「記憶に残る」体感型教育支援システムを構築することで、家庭などへの応用を展開する。

## 大学における事故事例の収集分析

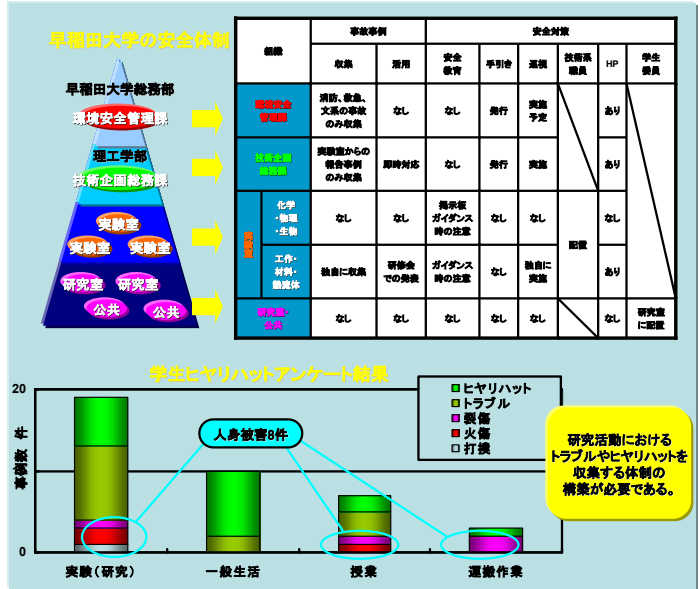
早稲田の安全体制の現状の調査と事例分析を行った。

### 早稲田大学の安全体制

- ▶大学が集めてる事例は、安全監督下でない場所での被害の大きい事例のみである。
- ▶実験室などは独自に事例収集などの安全対策を行っている。

### 早稲田大学の事故事例

- ▶研究室において、実験中の火災や重傷の人身事故が多く発生しており、その原因は学生のHEによるものである。
- ▶学生が研究活動において、多数のトラブルやヒヤリハットを経験している。



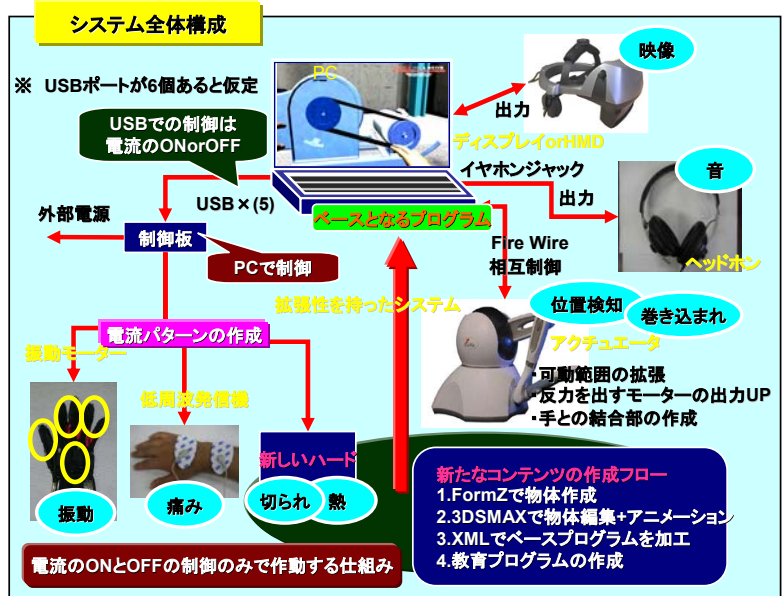
## 体感型安全教育支援システムの概要

### 特徴

- ・いつでもどこでも体感可能
- ・PCとのインタラクティブ化
- ・五感を駆使して、様々な体験が可能

### システム開発

- ▶アクチュエータを導入することで新たに引き込まれ感を再現した。
- ▶PCのプログラムで制御可能なシステムを構築した。
- ▶新たなコンテンツやハードを加えることが可能な拡張性を持っている。
- ▶音の変化や映像の変化を組み合わせることで、効果的な事故再現方法を検証した。



### 結論

- ▶このシステムを用いることで、事故を再現できるという結果が得られた。
- ▶このシステムを応用して、新たに家庭におけるシュレッダーの巻き込まれ事故を提案した。

写真